

市町村立図書館等活動支援誌

あけぼのつうしん

No.69

2020年2月27日発行

〔目次〕

■特集 図書館からアイヌ文化発信！

寄稿 白老町立図書館

- 「ウポポイ開業に向け“郷土資料コーナー”をリニューアル！」・・・1
全道図書館専門研修（子ども読書／地域支援）・・・・・・2
展示・講座あれこれ 苫小牧市・・・・・・・・・・3
登別市・北見市・・・・・・・・・・4

■注目！notable case ～道内図書館（室）トピックス～

20歳の20冊 佐呂間町・興部町・・・・・・・・・・5

■市町村活動支援事業アンケート調査報告・・・・・・・・・・7

■お知らせ

- ①市町村活動支援事業 令和2年度の変更点・・・・・・・・・・9
②2019年秋 読書週間の主な講師等一覧・・・・・・・・・・10

北海道立図書館



寄稿

ウポポイ開業に向け“郷土資料コーナー”をリニューアル！ — 白老町立図書館 —

当館の郷土資料は一般書架の間にひっそりと埋もれており、「アイヌ民族の本はどこですか?」、「白老町史ってどこにありますか?」といった問い合わせが多く、もっと分かりやすい場所に設置することが課題でした。しかし、館内は狭隘化が進み、新たにコーナーを設置する場所はなく、予算もないといった中で、なかなか動き出せずにいたのです。

今年 2020 年 4 月 24 日には、白老町ポロト湖畔に民族共生象徴空間（ウポポイ）が誕生し、先住民族アイヌを主題とした日本初の国立博物館、国立民族共生公園、慰霊施設が整備されます。

町内では、駅の改修やインフォメーションセンターの建設、道路の拡張など至る所で工事が行われ、来町者の受け入れ準備が進められています。地元の図書館として、ウポポイ開設に向けて館内も整備しなくては！！と決意し、初めて来館した方でも目に留まりやすい館内中央部の書架へアイヌ関係資料を含む郷土資料を移設することにしました。

移設する場所を決めるまでは良かったのですが、中央部の書架は図書館家具ではなく、30 年ほど前に地元建設業者が設計し制作したもの。郷土資料を収めている書架とは規格が異なるため、すべての資料をそのまま移動することができず、配置を決めるまで苦慮しました。（図書館あるあるかもしれませんね…）

昨年 10 月に移設作業が完了し、苦勞した甲斐あって日の目を見ることがなかった資料が少しずつ動き出しています。経済振興課で「アイヌ文化を取り入れた手工芸担い手講座」などを実施していることもあり、特にアイヌ刺繍や文様の資料が貸し出されています。そして、何といても『ゴールデンカムイ』は大人気です。

ウポポイ開設以降、来館者がどのくらい変化するのか予測がつかみませんが、今後も町内外の多くの方々に、アイヌ文化について理解を深めていただけるよう、資料の整備や展示等を行い、より充実したコーナーとして活用していきたいと考えています。

（白老町立図書館主査 本間敬子）



リニューアルした郷土資料コーナー



人気の『ゴールデンカムイ』も！



全道図書館専門研修(子ども読書／地域支援)



令和2年1月17日に道立図書館で、「基礎から学ぼう！ーアイヌの物語と絵本の読み聞かせー」をテーマに、アイヌの物語のあらましやアイヌ語の発音の基礎、「読み聞かせ」の選書方法や発声法などを、基礎から学び理解を深める研修会を実施しました。

午前の「第1部 読み聞かせのためのアイヌ語・アイヌ文化入門」は、北海道博物館アイヌ民族文化研究センターのご協力により、研究職員の遠藤志保様、大谷洋一様のお二人を講師に迎え、当館の研修としては初めての内容でした。

参加者アンケートの声から、一部をご紹介します。

アイヌの文化がこれから話題になると思っていたタイミングでこの内容の研修が受講できて有難いと思いました。アイヌの絵本を紹介してもらえたことが良かった。アイヌ語の発音も初体験で興味深かった。



「どのような作品があるか」(遠藤様)



「読み聞かせに必要な発音について」(大谷様)

絵本のリストを活用し、アイヌの世界観に忠実なものなのか、創作なのかを知った上で手渡すことができたと思います。



※アイヌ関係児童書のリストは、
北海道立図書館ポータル内 情報共有ファイル
>3お役立ちファイル集>研修資料

アイヌ民族関連の絵本、児童書の内容(及び分類)について、特色等の説明が良かった。アイヌ語の発音について、所蔵資料に目を通したことはあるが、詳細な説明や発音の法則が学べて、新しい発見があった。

なお、午後に絵本専門士の笹山愉香様を講師に実施した、第2部「絵本の読み聞かせを学ぶー基本のキからお悩み克服までー」は、「読み聞かせは何年も行っていますが、原点に戻って改めて勉強したいと思いました。」との声が複数あり、こちらも大変好評でした。

展示・講座あれこれ

令和2年（2020年）4月に控えた民族共生象徴空間「ウポポイ」の開業にちなんで、道内図書館のアイヌ関係の取組を紹介します。

(1) 苫小牧市立中央図書館

民族共生象徴空間「ウポポイ」

国立アイヌ民族博物館 PR 展示

ヤ ヨ ペ ヨ ペ
y a y o p e y o p e

アイヌの暮らし／アイヌのことば

場 所：苫小牧市立中央図書館 2階自習室前展示コーナー

開催日：[アイヌの暮らし]

令和元年（2019年）10月26日（土）～12月26日（木）

[アイヌのことば]

令和元年（2019年）12月28日（土）

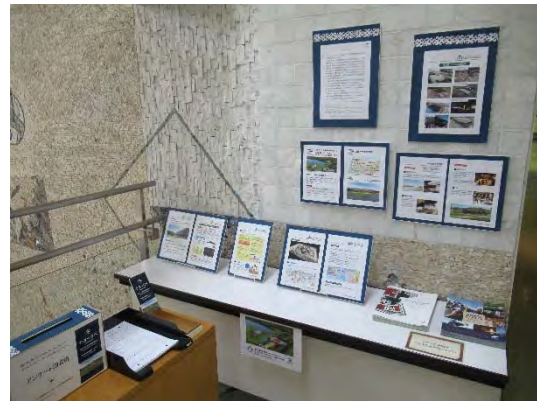
～令和2年（2020年）2月27日（木）

苫小牧市立中央図書館では、民族共生象徴空間「ウポポイ」の開業にあわせて、4か月連続で、アイヌ関連資料の展示を行いました。

連続展示の前半にあたる、「アイヌの暮らし」では、アイヌの食事や住居の様子、身につけていたものなどをパネルや写真で紹介し、後半の「アイヌのことば」では、『アイヌ神謡集』やアイヌ語辞典など、アイヌの言葉にまつわる資料に加え、アイヌ語地名も紹介しました。

展示では、国立アイヌ民族博物館のPR展示として同館準備室によるパネル展やパンフレットの提供を、北海道博物館からアイヌ関連パンフレットの提供協力を受けました。

また、展示期間中の2月22日には、国立アイヌ民族博物館の学芸員を講師として講演会「アイヌのおはなし」を開催。そのほか、2月1日から2月27日にかけては北海道内の博物館などで配布されている「北海道先人カード※」の関連展示として、先人カードの中からアイヌ関連の人物を紹介し、関連資料の特集を行いました。



※北海道の発展に貢献した人物のカードで、表面には人物の肖像、裏面には経歴や歴史が記されています。約100種類あり、それぞれのカードが、道内にある指定の施設でしか入手できない貴重なカードです。

(2) 登別市立図書館

アイヌ文化講座

初めて触れる！ゼロから学ぶ！

アイヌ語教室 入門編

講師：アイヌ文化活動アドバイザー 作田 悟 氏

場 所：登別市立図書館 3 階会議室

開催日：令和元年（2019 年）11 月 3 日（日・祝）13:30～15:30

登別市立図書館で文化の日の事業として、公益財団法人アイヌ民族文化財団のアドバイザー派遣事業を活用した、アイヌ語教室が開催されました。

アイヌ語を初めて学ぶ人を対象とした講座で、アイヌ文化活動アドバイザーの作田悟氏を講師に、身近な物のアイヌ語での呼び名や文法について学び、参加者全員がアイヌ語のクロスワードパズルで盛り上がりました。なお、アイヌ語教室は今後も継続して開催を予定しています。



(3) 北見市立中央図書館

アドバイザーが教える

アイヌ 刺 繍

講師：アイヌ文化活動アドバイザー 中井 百合子 氏

場 所：北見市立中央図書館児童学習室

開催日：令和元年（2019 年）11 月 23 日（土・祝）13:00～16:00

同じく公益財団法人アイヌ民族文化財団のアドバイザー派遣事業を活用した事業が、北見市立中央図書館でも開催されました。

参加者は裁縫道具を持参して、講師であるアイヌ文化活動アドバイザーの中井百合子氏に教わりながら、コースターにアイヌの伝統文様の刺繍を施し、講座の開催に合わせて、アイヌ関連の資料の展示も行いました。



■注目！notablecase ～道内図書館（室）トピックス～



はたち 20歳の20冊



「20歳の20冊」とは、もともと財団法人出版文化産業振興財団（J P I C）が始めた事業でしたが、参加自治体が少ないことなどを理由として平成25年度を最後に事業をとりやめたため、近年は各市町村が独自に取り組んでいます。

今回は、佐呂間町と興部町の令和2年の成人式の様子を中心に、この取組について紹介します。



●佐呂間町

平成25年1月の成人式から、生涯にわたって本に親しむことを目的に、「読書を通して自立した社会人になってほしい」との思いを込め、町長から新成人一人ひとりに本を贈呈しています。

新成人には、あらかじめ教育委員会（社会教育課）が、「20歳の20冊」のブックリストを掲載したパンフレットを成人式のご案内と一緒に送付し、そのリストの中から自分が欲しい1冊を選んでもらいます。



「20歳（はたち）の20冊」贈呈の様子



町立図書館の「20歳（はたち）の20冊」展示の様子

希望タイトルの取りまとめを行った後、書店に発注し12月末までに準備をしています。成人式を欠席した方にも、希望があった場合は後日送付します。

平成29年度以降は、図書館職員が「20歳の20冊」の選書を行っています。読み物は話題作、受賞作、古典などから、また新成人に受け入れられやすいと思われる有名人の書いた本なども含め、全体の分類バランスを考慮して選定しています。

今年度は、人生訓3冊、実用書7冊、読み物10冊のリストを作成し、31名の新成人に本を贈ることができました。図書館でも、「20歳の20冊」として展示を行っています。



●興部町

令和元年度から図書館事業として取組を始めました。

成人式で教育委員会から新成人たちへ、記念品である興部の銘菓と一緒に本をプレゼントしています。

「20歳の20冊」のリストを成人式の案内と共に新成人に送り、出欠ハガキに希望図書の番号を記入してもらいます。

これからの人生において悩んだりつまずいたりした時に、このリストから選んだ本で癒されたり救われたりしたらいいなという思いをこめ、ベストセラーなどにはこだわらず新成人に向けた内容のものを図書館職員が選書しました。

新成人が40名程度という小さな規模の町だからこそできることとして、本と一緒にメッセージが入ったしおりを渡しています。しおりに記されたメッセージは、新成人から希望

があった本を教育長がすべて読み、それぞれの本にあった言葉を考えたもので、各タイトルに違うメッセージのしおりを添えています。

今年度は事前にリストで案内した20タイトルのうち16タイトルへの希望があり、どれかのタイトルに希望が集中するということはありませんでした。

今後もリストを更新していく予定です。



↑ ヨシタケシンスケ著『おもわずかんがえちゃう』に添えられたしおり



■市町村活動支援事業アンケート調査報告

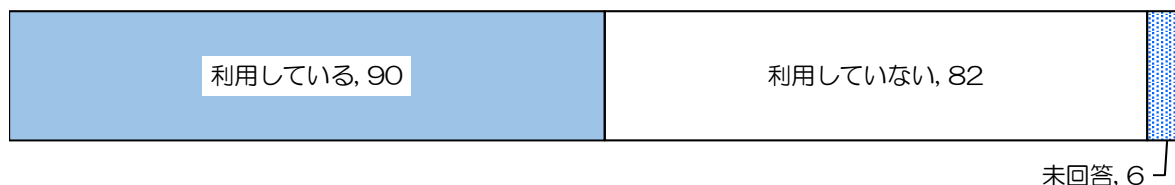
市町村活動支援事業アンケートに、ご協力ありがとうございました。市町村の図書館（室）のみなさんにご回答いただいた調査結果の概要をご紹介します。

令和元年度（2019年度）市町村活動支援事業の利用等について —アンケート調査報告（概要版）—

- ・照会日 令和元年（2019年）12月4日（回答期限 令和元年12月20日）
- ・照会方法 メール又はファクシミリで送付及び回収
- ・照会数 道内178市町村（札幌市を除く）
- ・回答数 172市町村（回収率96.6%） ※令和2年1月22日現在

1 市町村活動支援事業の利用状況について

【令和元年度に市町村活動支援事業を利用したか（Q1）】（回答数 172市町村）



今年度は回答のあった172市町村のうち、90市町村（52.3%）が支援事業を利用していました。全道の半数以上の市町村が支援事業を利用したことになり、そのすべてから「とても役立った」「役立った」との好評をいただきました。

しかし、利用した事業として挙げられたもののなかには、昨年から引き続き他の事業や協力サービスと混同していると考えられる記述がありました。

（例）具体的なテーマを決めた貸出し（イベントの展示用など）

→ 一般資料サービス課・北方資料サービス課の「展示貸出し」です。

文学館出前講座

→ 道立図書館が連携講座として募集するほかに、道立文学館が独自に募集しているものがあります。

今後も、事業内容や実施主体のわかりやすい広報に努め、必要とされる支援をスムーズに提供できるようにしていきます。

【参考：令和元年度に市町村活動支援事業を利用した市町村数】（令和2年1月末申込分まで）

運営相談事業	16	重点運営支援事業	1
大量一括貸出し	36	事業貸出し	30
出前講座（文学館連携事業）	3	学校図書館運営相談事業	11
学校ブックフェスティバル事業	17	学校図書館サポートブックス事業	26

2 市町村活動支援事業へのご意見・ご要望から

多くのご意見をいただき、ありがとうございます。来年度以降の事業の参考にします。今後も、率直なご意見をお寄せください。

意見・要望	企画支援課から
<p>【大量一括貸出し】 前回借りた本と、できれば重複しないようにしていただきたいです。</p>	<p>複数の職員で平均 200 冊以上を選書しているため、若干の重複はご理解、ご了承をお願いします。 借りたい本のタイトルやテーマが具体的に決まっている場合は、一般資料サービス課の「展示貸出し」もご利用ください（申込みで冊数の制限はありません）。</p>
<p>【事業貸出し】 セットごとに絵本が決まっているのですが、自由に選択できると助かります。</p>	<p>しかけ絵本セットの内容を見直します。 従来の「しかけ絵本そのものを楽しむ」セットの貸出しも継続しますが、テーマにそったセットを新しくもうけ、全体のセット数も増やす予定です。 目的に合わせてご活用ください。 詳しくは、先日発行した「令和 2 年度市町村活動・学校図書館支援案内」をご覧ください。</p>
<p>【事業貸出し】 図書の在庫確認方法の多様化ができれば、なお利用しやすいと思います。</p>	<p>利用申込みをよりスムーズにするため、来年度からは事前の在庫確認は不要です。直接申込書をお送りください（調整が必要な場合は、道立図書館から連絡をします）。 より多くの市町村に利用していただけるように、最新の貸出し・予約状況を見ながら受付をしています。ご理解いただき、まずはご希望をお聞かせください。 （貸出希望日の 2 週間前までにお申込みください。）</p>
<p>【研修会など】 スタッフやボランティアを対象とした講座の開催を希望します。</p>	<p>「運営相談」や「相互協力促進事業」では、図書館職員だけでなくボランティア向けの研修等にも対応しています。まずは企画支援課にお問合せください。</p>
<p>【研修会など】 他図書館で行っている講座、講師の紹介があればとても助かります。</p>	<p>年に 2 回、「こどもの読書週間」と「読書週間」に全道の図書館（室）で行われた事業の調査を行っています。 その際に情報提供いただいた講師の一覧を、「あけぼのつうしん」と図書館ポータルで公開しています。ぜひご活用ください。</p>

3 その他

意見・要望	企画支援課から
<ul style="list-style-type: none"> ・古い希少な本（マンガ雑誌など）を展示用として貸し出してほしいです。 ・灰色文献や同人誌など被流通資料の貸出しがあると嬉しいです。 	<p>貸出しのできる資料も多く所蔵しています（利用や展示の方法に条件がつくことがあります）。 まずは、展示の企画やご利用になりたい資料について、一般資料サービス課・北方資料サービス課にご相談ください。</p>



■お知らせ

① 市町村活動支援事業 令和2年度の変更点

ここが新しくなります！

■ 事業貸出しの申込みが、スムーズになります。

電話又はメールで受け付けていた事前の在庫確認は必要ありません。ご希望の資料を直接お申し込みください（必要に応じて道立図書館から連絡をします）。

※原則として、貸出し希望日の2週間前までにお申し込みください。

■ しかけ絵本セットが、より使いやすく変わります。

従来の「しかけ絵本そのものを楽しむ」セットのほか、季節の行事などを内容とするテーマごとのセットを用意します（令和2年3月以降順次リスト公開予定）。イベントや展示など、利用目的に応じた選択が可能になります。ぜひご活用ください。

今までは…

いろいろなタイプの絵本で構成

しかけ絵本を楽しもう！



一部のセットにテーマを設定！

全体のセット数も増えます！

■ 学校図書館サポートブックスが5セット増えます。

今まで9種類 22 セットだった学校図書館サポートブックスが、12 種類 29 セットに増えます。

◎新しいセット

NEW

「アイヌ文化を知る本」ウポポイ（民族共生象徴空間）開設に合わせ、小・中学生向けにアイヌ民族の歴史や文化を学べる本をそろえました。

◎内容を更新したセット

リニューアル!

「授業お役立ちセット」新学習指導要領に合わせて、小学校国語（光村図書出版、教育出版）の3～6年生の教科書で紹介されている本の中からそろえました。

「北海道を知る本」“文化・歴史編”と“自然・動植物編”の2種類に分け、よりコンパクトに利用しやすくなりました。

■ 文学館出前講座の申込み方法が変わります。

他の事業と一緒にあった申込みを、別途「文学館出前講座申込書」で受け付けます。

（教育局はとおさず）道立図書館に直接お送りください。

② 2019年秋 読書週間の主な講師等一覧

「2019・第73回読書週間行事」調査回答をもとに、主な講師一覧を作成しました。来年度のイベント企画時の参考情報としてご活用ください。（敬称略）

※前号（No.68）の「こどもの読書週間の主な講師等一覧」で紹介した講師の方は省略しました。

※講師名・団体名の五十音順に並んでいます。



（1）個人：絵本作家

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
1	荒井 良二	ワークショップ 「絵本のようなものをつくろう！」	北広島市	10/20
2	飯野 和好	・読み語りライブ、サイン会 ・ちゃんばら工作ワークショップ	恵庭市	10/6
3	いしかわ こうじ	・読み聞かせ ・ワークショップ：おめん作り、ふね作り	札幌市 (えほん)	11/2 11/3
4	川崎 秋子	講演会「失われたもの、贖われたもの」	釧路市	11/2
5	河治 和香	トークショー	礼文町	10/19
6	きくち ちき	講演会「本のまち夢づくり講演会」	本別町	11/30
7	木島 誠悟	読み聞かせ	清里町	11/2
8	今野 敏	講演会「小説の素材」	函館市	10/20
9	武田 美穂	講演会	恵庭市	10/5
		武田美穂えほんライブ in しべちゃ ・読み聞かせなど	標茶町	11/10
10	長野 ヒデ子	特別講演会「長野ヒデ子さんがやってくる！たいこさんとあそびターイ！」 ・読み聞かせ、紙芝居 ・わらべうた、手遊び、工作など	中標津町	11/10 11/11
11	長谷川 義史 & あおき ひろえ	「絵本作家 長谷川義史&あおきひろえ 夫婦シアター」 ・読み聞かせ ・ライブペインティング ・歌やウクレレ演奏など	広尾町	11/8
			新得町	11/9
			滝川市	11/10
12	三浦 太郎	【予定】 ・おはなし会、講演会 ・ワークショップ「紙の街をつくろう！」	浜頓別町	11/16 (延期)

(2) 個人：講演や講座

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
13	大和田 努 (帯広百年記念館学芸員)	地域資料講演会「図書資料が語る十勝の歴史」	帯広市	11/2
14	奥山 淳志 (写真家)	「庭とエスキース」出版記念 トーク&スライドショー	新十津川町	11/10
15	熊澤 三太郎 (函館俳句協会会長)	「古典の日朗読会」 講演「古典のことば 芭蕉の生涯について」	函館市	11/1
16	藏本 忍 (元明治大学准教授)	記念講演会「ふるさと様似・エンルムのふもとで生まれ…そして、今」	様似町	10/20
17	小林 紗織 (かごあみ 糸)	大人の工作教室 ・白樺樹皮を使用した写真立て作成	中川町	10/26
18	作田 悟 (アイヌ文化運動アドバイザー)	初めて触れる！ゼロから学ぶ！アイヌ語教室入門（アイヌ民族文化財団アドバイザー派遣事業）	登別市	11/3
19	佐藤 国男 (版画家)	イーハトーボの風が聞こえる朗読会 「宮澤賢治さんを語る」	八雲町	10/5
20	須藤 秀紹 (室蘭工業大学教授)	チャレンジ！ピブリオバトル体験講座	登別市	11/16
21	住吉 徳文 (サッポロビール博物館館長)	講演会 「五稜星と開拓使、そして開拓使麦酒醸造所」	札幌市 (中央)	11/9
22	瀬戸 優理子 (現代俳句協会会員)	出前講座（道立文学館連携講座） やさしい俳句入門～自然と一句詠めるレシピ～	稚内市	11/2
			足寄町	9/18*
23	武内 朋之 (ボールペンアート作家)	おえかき教室	黒松内町	10/5
24	武田 明美 (絵本セラピスト)	大人のための絵本セラピー ・読み聞かせ、グループワーク	新冠町	11/6
25	田中 幹子 (札幌大学教授・文学博士)	講演会「大友旅人の令和とは」	札幌市 (西岡)	11/14
26	中井 百合子 (アイヌ文化運動アドバイザー)	アイヌ刺繍講座 (アイヌ民族文化財団アドバイザー派遣事業)	北見市	11/23
27	幅 允孝 (ブックディレクター)	ブックディレクターから見た札幌市図書・情報館	札幌市 (図書・情報館)	11/6
28	福地 大輔 (道立帯広美術館学芸員)	図書館芸術鑑賞講座「北斎の生涯と芸術」	音更町	10/5
29	星野 真実 (厚生労働省認定 1級POP広告クリエイター)	「色彩あふれる筆ペンPOP」	帯広市	11/3

*足寄町の講座は読書週間以前のものですが、講座内容・講師ともに稚内市と同じため、参考に掲載します。

(2) 個人：講演や講座（つづき）

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
30	三浦 つねお (芸能従事者・演出家)	イーハトーボの風が聞こえる朗読会 「宮澤賢治さんを語る」	八雲町	10/5
31	山田 貴子 (絵本セラピスト)	大人のための絵本セラピー講座 ・ワークショップテーマ：「命」の絵本	壮瞥町	11/9
32	横田 ていいち (元室蘭文学館館長)	講話「村上春樹の世界」	ニセコ町	11/9
33	吉成 香織 (道立文学館主任学芸員)	講演会「北海道の作家たち」	千歳市	10/27

(3) 個人：その他

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
34	あい (バルーンアーティスト)	バルーンアート実演	札幌市 (えほん)	11/10
35	安藤 千鶴子 (元北海道放送アナウンサー) (音声表現講師)	「朗読の森～PREMIUM～」 朗読会「朗読の森」の読書週間特別版	滝川市	10/11
36	太田 ひろし (マジシャン)	マジックショー「不思議ってステキ！」	壮瞥町	11/17
37	葛西 利光 (アルトサクソ奏者)	サクソ演奏	石狩市	10/26
38	KURO (パフォーマー)	ジャグリングショー	石狩市	10/27
39	ジョニー・サモア (マジシャン)	マジックショー	石狩市	10/26
40	猫の風船屋 きのこ (バルーンアーティスト)	バルーンアート	黒松内町	10/5
41	のあ (FMおぞらパーソナリティ)	「朗読の森～PREMIUM～」 朗読会「朗読の森」の読書週間特別版	滝川市	10/11
42	ピエロのぐっちゃん (大道芸人)	「コメディパフォーマンショー」 ・パントマイム、バルーンショー	芦別市	11/3
43	古館 孝広 (オカリナ工房北の銀河)	ギャラリーコンサート 「オカリナ演奏と朗読の夕べ」	新十津川町	10/13
44	ミスター西垣 (マジシャン)	マジックショー	旭川市	11/3



(4) 団体・人形劇

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
45	お楽しみ劇場ガウチョス	人形劇	石狩市	10/27
		人形劇、工作ワークショップ	羅臼町	11/3
46	オホーツク風雲ワクワク団 ^{エヌ}	「こどものつどい」 ・パネルシアター、人形劇、工作など	根室市	11/9
47	人形劇団えりっこ	人形劇のつどい「ぼくはガリガリ」	浦河町	11/17
48	人形劇団オペレ	人形劇	石狩市	10/26
49	人形劇団コケコッコ	人形劇	大空町	11/3
50	人形劇団ひよっこ	人形劇	大空町	11/3
51	宮澤 和樹 ほか (宮澤賢治の又甥)	特別講演「賢治のヴァイオリン音楽会」 ・家族から見た宮澤賢治／詩の朗読 ・宮澤賢治所有ヴァイオリン演奏 出演：宮澤和樹（宮澤賢治の実弟の孫）、宮澤やよい（和樹氏の妻）、宮澤香帆（和樹氏の長女）	八雲町	10/12
52	らっこ座	人形劇、読み聞かせ、パネルシアター	更別村	11/9

(5) 団体・その他

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
53	旭川キンペンス	図書館まつりエンディングコンサート ・ブルーグラスのコンサート	旭川市	11/3
54	accie (あっちえ)	読み聞かせオペラ（ピアノの生演奏とともにオペラで絵本読み聞かせ）	札幌市 (山の手)	11/2
55	NPO 法人 北海道子育て支援ワークーズ	図書館子育て講座 ・リズムあそび、わらべうた ・紙芝居、絵本など	上士幌町	10/4
56	オープンガク堂 cafe	昔ばなしシアター「手をつないだ樫の木」 ・読み語り（当時の歌曲・童謡のピアノ演奏付き）	中札内村	10/12
57	北のやまねこ倶楽部	朗読とハーブの調べ	黒松内町	10/27
58	グループ・イルベント	朗読会「悠久の世界への誘い ～幻夜 時の流れるままに～」 『竹取物語』の朗読と歌曲のコラボ	浦河町	11/10
59	コロポックルの会	読み聞かせ	森町	11/19
60	ツクヨミの会	「朗読の森～PREMIUM～」 朗読会「朗読の森」の読書週間特別版	滝川市	10/11

(5) 団体・その他(つづき)

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
61	名もなきジャズトリオ	ジャズ演奏会	当麻町	11/3
62	函館朗読奉仕会	「古典の日朗読会」朗読	函館市	11/1
63	よみしばい わおん & 打楽器奏者 Mikko Okada	「飛べ! えほんのたね 絵本と打楽器ライブ」	札幌市 (山の手)	11/17
64	リーリーブロッサム	「リーリーブロッサム パフォーマンスショー」 ・ジャグリング、バルーン、似顔絵など	八雲町	10/13
65	朗読アナウンスサークル えくすぶりーど	珈琲の美味しい朗読会	中標津町	11/4
66	朗読の会 北こぶし	大人のための朗読会	恵庭市	10/27
67	Wander Around	バイオリン&ギター演奏	石狩市	10/27

(6) 学校・学生

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
68	旭川福祉専門学校	おはなし会	東川町	11/10
69	國學院大學 北海道短期大学部	【演劇部】 「朗読の森～PREMIUM～」 朗読会「朗読の森」の読書週間特別版	滝川市	10/11
		なかそらち図書館ネットワーク推進事業 「おはなしカーニバル」 ・読み聞かせ、体あそび、ゲームコーナー	滝川市	11/16
70	北海道石狩翔陽高校 石狩太鼓局	演舞	石狩市	10/26
71	北海道岩見沢緑陵高校 課題研究班	・班制作の紙芝居の読み聞かせ ・班員おすすめ絵本の紹介	岩見沢市	11/2
72	北海道浦河高校 写真部	「浦高写真部展 in 図書館」	浦河町	11/1 ~29
73	北海道教育大学旭川校	図書館まつりキッズランド(体験コーナー)	旭川市	11/3
74	北海道大学落語研究会	新琴似図書館寄席	札幌市	11/2
75	北海道三笠高校 地域連携部	「かるがもさんのおはなしまつり」 ・大型絵本読み聞かせ	三笠市	11/10

- ・各事業の詳細については、実施市町村へお問い合わせくださいますようお願いいたします。
- ・読書週間調査は、毎年、春と秋に各市町村にご協力いただき、北海道読書推進運動協議会事務局で集約し、公益社団法人読書推進運動協議会へ提出しているものです(今回は、主に10~11月に実施された行事を対象にしています)。



令和2年になって最初の『あけぼのつうしん』です。本年もどうぞよろしくお願いたします。

暖冬と言われ、さっぽろ雪まつりをはじめ道内各地の冬のイベントに影響が出ていましたが、2月に入ってから氷点下20度、氷点下30度…という気温が記録されています。ウォームシェアの取組に図書館が活用されている市町村もありますね。図書館を利用している学生さんの中には、一足先にサクラが咲いた方もいるでしょう。今の季節ならではの楽しみもありますが、やはり春の訪れが待ち遠しく思われます。

みなさんの図書館（室）の活動の情報をお寄せください。季節の展示や好評だった事業、新しく始めた取組など、随時受け付けています。

『あけぼのつうしん』読後の感想もお待ちしています。

→ shienka@library.pref.hokkaido.jp



あけぼのつうしん No. 69

発行日 令和2年(2020年)2月27日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

ホームページアドレス <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>